

1. はじめに

SDGs と、その前身となる国連ミレニアム開発目標 (MDGs) とを、障害に関する施策という観点から比較すると大きな違いがあります。MDGs ではその対象として障害のある人々について明確に述べられなかったのに対し、SDGs では障害者を含めたすべての人を念頭においた開発目標であることが示されているという点です。

地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓う SDGs では、障害者を含むことは当然とも言えますが、開発目標が MDGs (2001 年) から SDGs (2015 年) へと進む途中において、国連では障害者権利条約が採択されたことが大きく影響していると言えるでしょう。

2. 障害者権利条約 (CRPD) と SDGs

障害者の権利に関する条約 (略称: 障害者権利条約、Convention on the Rights of Persons with Disabilities、以下 CRPD) は 2006 年に国連総会で採択されました。CRPD は、社会に対して障害者への差別を禁じ、障害者は障害のない人々と同様に社会に参加するための権利を有することを定めたものであり、この条約を受け入れた国では国内の法律を CRPD に沿った内容に改める義務を負います。

我が国は関連法の改正および虐待防止法や差別解消法といった障害者に係る新しい法律を制定した後、2014 年に CRPD を受け入れる手続 (「締結」と称される) を終わりました。

CRPD の核となる 33 の条項は、障害者の生活全般にわたるものですが、SDGs の 17 ゴールとのつながりが見えます。

EU 諸国の障害当事者を中心とした市民団体である「ヨーロッパ障害者フォーラム」(以下、EDF) がそのウェブサイトで、SDGs の 17 ゴールと CRPD の関連を説明しています (図 1)。¹⁾

例えば、ゴール 1「あらゆる形態、あらゆる場所での貧困をなくそう」は CRPD の条項全てと関わりがある、とされています。SDGs の宣言では、エンパワーされるべき脆弱な人々として、子ども、若者、障害者、HIV/エイズと共に生きる人々、高齢者、先住民、難民、国内避難民、移民が挙げられています。そこでは実に、世界の障害者の 80%以上が貧困下にあると述べているのです。ゴール 1 は現在貧困下にある障害者を含むすべての人が貧困から脱することを実現させるという目標です。

ゴール 5「ジェンダー平等を実現しよう」も CRPD の条項全てと関わります。特に障害のある女性は、女性と障害のために生活のあらゆる場面で複合的な差別を経験する可能性があることに留意しなければなりません。

Figure 1 - Link between the SDGs and the CRPD



図1 SDGsの17ゴールとCRPD条文との関連¹⁾

SDGs17のゴールのうち、12・14・15以外のすべてのゴールはCRPD条文と関連づけられる。

3. SDGs が達成されたら・・・

SDGs にはインクルーシブ、すなわち、どんな人も例外なく社会に包摂するという考え方が基本におかれています。それはCRPDも同様です。前述のEDFは昨年、SDGsが達成されたとすれば、障害者にとっても包摂的な社会が到来することを紹介するごく短いアニメーション動画を公開しています²⁾。現在、ウェブ上で7つの動画を見ることができますが、以下、一部を紹介します。

ゴール3「すべての世代のすべての人に健康と福祉を」：アレクサンドラは高齢でいろいろ不自由があるため、病院へ行っても自分の病気やからだの状態について、医師の説明がよくわかりません。SDGs ゴール3が達成されると・・・平易なことばでわかりやすく説明してくれる人がついてくれ、彼女はより良質なサービスを受け、自分で健康管理ができるようになるでしょう（図2）²⁾。



図2 SDGゴール3 健康と福祉²⁾ SDGゴール3が達成されると、アレクサンドラは、病院で医師の他に看護師などによる十分な説明がいつでも受けられる。

ゴール4「インクルーシブで公平な質の高い教育と生涯学習の機会をみんなに」：アナーニャのように知的障害がある子は、他の子たちと同様な子ども時代の子どものらしい経験ができないことがあります。学校教育の場はしばしば分断されており、障害のない子どもたちにとっても、障害のある人に対する排除と偏見の始まりになっています。SDGs ゴール4が達成されると・・・子どもたちは地域の学校で必要な支援や道具を与えられ、自立的に各々のニーズに合った方法で学べます。アナーニャも同じ地域の子どもたちと一緒に学べ、かつ生徒たちはみなそれぞれのペースで学習することができるでしょう（図3）²⁾。



図3 SDGゴール4 教育²⁾ SDGゴール4が達成されると、アナーニャも必要な支援を受けながら、地域の子どもたちと一緒に学ぶことができる。

ゴール8「インクルーシブかつ持続可能な経済成長、および生産的雇用ときちんとした仕事をみんなに」：視覚障害のあるラウルは職場での初日を迎えたところです。障害のある人は就職活動での困難を強いられます。彼のようにやっと仕事に就いたとしても、例えば、パソコンのような機器へのアクセスをする用意がなかったり、彼が読める形での資料がなかったり、といった不利を経験しています。SDGs ゴール8が達成されると・・・必要な機器やソフトウェアが当然のように用意され、他の人々と同様に平等な機会をあたえられることでしょう（図4）²⁾。



図4 SDGゴール8 雇用²⁾ SDGゴール8が達成されると、視覚障害がなくても、必要な機器が準備されている。

障害のある人々にとってSDGsは、CRPDをより実効性のあるものへ、自国の施策や社会のあり方がインクルーシブな形に変えていく、そのような力をもつものとして期待されています。

【文献】

- 1) European Disability Forum : How do the SDGs support the Convention on the Rights of Persons with Disabilities?
<http://www.edf-feph.org/how-do-sdgs-support-convention-rights-persons-disabilities> (2020年12月20日閲覧)
- 2) European Disability Forum : Launch of videos on Sustainable Development Goals "For a future with no one behind"
<http://www.edf-feph.org/newsroom/news/launch-videos-sustainable-development-goals-future-no-one-behind> (2020年12月20日閲覧)